

2019ZENKO in 東京 第9分科会

戦争のための教育はいらない！ 教育市場化・公教育解体を止めよう！ 子どもの権利が尊重される学校、多様な子どもたちが ともに育つ教育を市民の手に取りもどそう！

7 / 28 (日)

9:30～12:00

日本教育会館 703 室

(東京メトロ半蔵門線・都営新宿線・都営三田線
「神保町」駅)

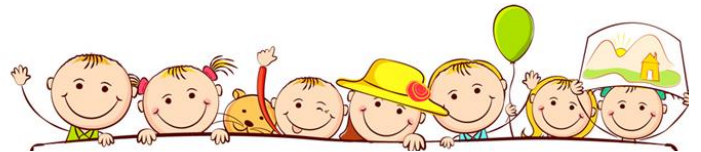
「日の丸・君が代」強制、天皇賛美持ち込み、道徳教科化、オリンピック教育、公設民営学校、学力テスト、ゼロトレランス、学校スタンダード、学校選択制、e t c. e t c. 教育は、政府の進める改憲・戦争国家づくりの動きに沿って統制・支配が強化される一方、市場原理の渦に飲み込まれ、学校の内外で、市場化・公教育解体への流れが目に見えるようになってきています。

子どもたちは点数競争に駆り立てられ、広がる格差の中で辛吟しています。教職員も、自己責任が強調され、学力テストの数字で評価されるような人事評価制度等、競争の中におかれ、孤立化させられています。

しかし、公教育破壊の「先進国」アメリカでは、そのような教育の商品化・市場化に対して、生徒・保護者そして教員組合が反撃に立ち上がっています。

子どもの権利を尊重し、多様な子どもたちがともに育つ教育への変革、教育を市民の手に取りもどすための取りくみについて、いっしょに考えませんか。午後も、交流の広場 E (同会場) で、ざっくばらんに語り合しましょう。

<連絡先> 松田 090-1138-5776



★同会場で 13:00～14:30

「交流のひろば」を開催します。

【参加費】

2019ZENKO in 東京チケット

2日券 一般 2,500 円、その他 1,500 円

1日券 一般 1,500 円 その他 1,000 円

(当日券は+200 円)

詳しくは ZENKO ホームページでご確認下さい。

<http://www.zenko-peace.com/>

◆フリースペースからも報告します！◆

今年、教育機会確保法の見直しとして、3年前は法案から削除された「個別学習計画」が再浮上してきました。これは不登校の子ども親が「個別学習計画」を作り、行政に計画の認定や実施のチェックをしてもらうというものです。すべての親がそんな計画を作れるはずもなく、そこを教育産業が狙っていると思います。

今回の試案では、ICT を利用して学習履歴などを蓄積・分析できることが強調され、個別学習計画の説明に「学校教育法第 21 条の 10 項目」(教育の目標) がさらっと書かれています。不登校が義務教育市場化の口実に使われて格差が広がること、家が学校化して子どもがさらに追いつめられることが危惧されます。子どもが個人として尊重される教育を取り戻すために、ともに考えていきたいです。(フリースペースひまわり・小川)